

研究主題 **「考え、伝え、学び合う児童の育成**

～言語活動の充実を通して～

高学年分科会の目指す児童像

自分の考えや思いを目的に応じて伝え合い、深められる子

第4学年 国語科学習指導案

平成26年11月28日(金)

4年1組 33名

指導者 渡辺 信久

1 単元名 (教材名) 「日本の文化に親しむ」(故事成語)

2 単元の目標と評価規準

受け継がれてきた日本語の表現の豊かさを理解し、自らの言語生活の中に故事成語を生かしていこうとする。

関心・意欲・態度	・ 故事成語の成り立ちや意味を知り、ふだんの生活場面を考えて、作品作りをしている。
言語に関する知識・理解・技能	・ 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、作品に使っている。

3 単元について

(1) 児童の実態

学習に対する意欲は全体的には高いといえるが、個々を見るとその差はとても大きい。これは学力全体にも言える。表現においても語彙が少なかったり、表現の仕方がわからなかったりしてうまく意図を伝えることができない児童が数名いる。またその他に書く力はあるが話すことには極端に消極的になる児童も数名いる。

これらの児童も話す内容がはっきりしている場面では自分から進んで表現する姿がみられる。先の図工の研究授業で行った友達の作品の感想を言う場面では、発表する内容を書かせていたので、多くの子が進んで発表しようとしていた。

本単元でも「話すこと・聞くこと」「書くこと」の場を設定し、学習への関心・意欲・態度を高め、言語に関する知識・理解・技能の習熟を図る手立てとしたい。

(2) 単元構成について

本単元は、受け継がれてきた日本語の表現の豊かさを理解し、自らの言語生活の中に生かしていくための単元である。この系列は、3年生で学習した「ことわざ・慣用句」を受け、

ことわざや故事成語の由来を知り、実際の表現活動に展開し、日常の言語生活に生かすことをねらいとして構成されている。

故事成語の選定にあたっては、児童の身近に起こりうるようなできごとで、由来を聞いて納得できるようなものになるように配慮する。

故事成語とは中国の故事に由来する熟語である。それらは、児童たちも日常の会話の中で耳にしたり、読書の中で目にしたりする機会がある。しかし、その意味の理解は文脈から推測されるあいまいなものであることが多い。

故事言語の意味を知り、実際の言語生活の中で使うことによって、故事言語の意味に表わされるようなことがらを相手に端的に伝えることができることを知る。こうしたことが、言語生活を豊かにすることを実感することにつながると考える。

本単元を充実させるためには、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習に発展させ、意図的に活用する場の設定が大切になる。実際の日常生活の中で適切に使いこなせるようにし、習熟を図っていきたい。

4 研究主題との関連

① この単元で身につけさせたい力

- ・実際の言語生活の中で故事成語の意味に表わされるような事柄を、故事成語を使うことにより端的に伝える力

② そのための手だて

- ・ことわざや慣用句に比べて故事成語は児童にとって日常なじみの少ない表現である。その意味を理解しても具体的な活用場面を自分の力だけで思い浮かべることができる児童は少ないと予想される。そのため、活用事例集を用意することとした。いくつかの活用場面を知ること、自分なりの活用場面のイメージができると考えたからである。また事例集にある故事成語の意味を説明するものとして「漫画 故事成語」の資料を活用することとした。

- ・故事成語が日常生活で使われる場面を紙芝居形式で紹介する。言葉だけでなく、絵も使って故事成語の意味をあらわすようにすることで、学習への関心・意欲・態度を高め、言語に関する知識・理解・技能の習熟にも生かせるものとする。

- ・個に応じた手立てを用意する。(ワークシートの用意、相談する場の設定)

本学級では個人差が大きいため、日常生活で使われる場面が想起できなかつたり、故事成語を選択できなかつたりする児童がいることが予想される。そのような児童に対して、ヒントを与えられるようなワークシートを用意したり、紹介する故事成語の意味を伝えながら一緒に決める場を設けたりする。(第1、2時)

5 学習計画（4時間扱い）

次	時	ねらい	学習活動	□評価 ☆支援 ・留意点
1	①	故事成語の特色を知り「五十歩百歩」が使われそうな場面について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・知っている故事成語について話し合う。「矛盾」「蛇足」など ・「五十歩百歩」を「故事成語」「意味」「成り立ち」の順にまとめる。 ・「五十歩百歩」と同じ意味の事柄が使われそうな日常生活の場面について想起し、ノートに記述する。 <p><指導事項> 故事成語には「意味」「成り立ち」の特色があることを知ること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時以降の学習でもこの観点でまとめていくことを確認する。 <p>☑故事成語の特色を知り「五十歩百歩」を「故事成語」「意味」「成り立ち」の順にまとめることができる。（ノート）</p>
	②	故事成語の特色を知り「漁夫の利」が使われそうな場面について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「漁夫の利」を「故事成語」「意味」「成り立ち」の順にまとめる。 ・「漁夫の利」と同じ意味の事柄が使われそうな日常生活の場面について想起し、ノートに記述する。 ・「蛍雪の功」「杞憂」「虎の威を借りるきつね」「蛇足」「矛盾」の「意味」と「成り立ち」を調べる。 <p><指導事項> 故事成語には「意味」「成り立ち」の特色があることを知ること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時「五十歩百歩」の礼を出して考えさせる。 ・資料「漫画 故事成語」を使って調べさせる。 <p>☑故事成語の特色を知り「五十歩百歩」を「故事成語」「意味」「成り立ち」の順にまとめることができる。（ノート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「漫画 故事成語」
	本時	いろいろな故事成語の意味を調べ、その意味に合う生活場面を考え、作品を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな故事成語について意味や成り立ちを調べる。 ・いろいろな故事成語について、活用事例集を基に活用場面を想起し、活用例を発表する。 ・故事成語を一つ選択し、活用場面を考え、絵や文で表現する。 <p><指導事項> いろいろな故事成語の「意味」「成り立ち」を知ること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活用例を発表させる。 ・故事成語活用事例集の範囲で調べるようにさせる。 <p>☑いろいろな故事成語の活用場面を考えることができる。（ワークシート）</p>
	④	作品を完成させ、互いに紹介し合う	<ul style="list-style-type: none"> ・故事成語が使える場面を考えて作った作品を完成させる。 ・作品を互いに紹介し合う。 ・故事成語について考えたことをノートにまとめる。 	

6 本時の学習 (3/4 時間)

(1) ねらい いろいろな故事成語の意味を調べ、その意味に合う生活場面を考え、作品を作る。

(2) 展開

学習活動	主な発問と予想される児童の反応	○評価 ☆支援 ・留意点
<p>前時で調べた故事成語について意味を発表する。</p> <p>いろいろな故事成語の意味や成り立ちを調べ、発表する。</p>	<p>・「蛍雪の功」「杞憂」「虎の威を借りるきつね」「蛇足」「矛盾」の意味を発表しましょう。</p> <p>・他にもどんな故事成語があるのか調べてみましょう。</p> <p><指導事項> 故事成語の意味を理解すること</p> <p>・調べた故事成語の意味や成り立ちを発表する。</p>	<p>○評価 ☆支援 ・留意点</p> <p>☆資料「故事成語事例集」の中から選択させ、意味や成り立ちは資料「漫画故事成語」を使って調べるようにさせる。</p> <p>○調べた故事成語の意味や成り立ちをまとめることができたか。 (ワークシート)</p>
<p>いろいろな故事成語の使える場面を考えてみましょう。</p>		
<p>故事成語について日常生活で使える場面を考える。</p>	<p>・故事成語集に載っている故事成語について、例文を参考にして日常生活で使える場面を考える。</p> <p>例 蛍雪の功があつて素晴らしい発明をすることができた。 自分の心配は杞憂に過ぎなかった。</p>	<p>・意味や成り立ちを調べが故事成語以外でもよいこととする。</p> <p>・考え付いた例文を口頭で発表させる。</p> <p>○故事成語について日常生活で使える場面を考えることができたか。 (発表)</p>
<p>故事成語を一つ選び、使える生活場面を絵や文で表してみましょう。</p>		
<p>故事成語を一つ選択して、使える日常生活の場面を考え絵や文で表す。</p>	<p>・今までに学習した故事成語の中から一つを選び、それが使える日常場面を考え、絵や文に表わす。</p>	<p>・グループで作品を作ってもよいとする。</p> <p>・紙芝居形式で作ることを知らせる。</p>